



平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞団体

センスオブアース・市民による自然共生バンゲア からのお知らせ

センスオブアース
9月ワークショップ

創作紙芝居発表会



『土のこびと』や『風となかよし』に続く紙芝居づくりに挑戦する
東京家政大学宮地ゼミのみなさん

「環境問題やエネルギーのことを子どもたちにわかりやすく伝えられるように工夫した紙芝居だった。」

「子どもたちに私達が作った紙芝居でいろいろな発見をしてほしいな。」

学生たちが参加している、SOEのワークショップ。前半期は、エネルギー等の紙芝居づくりに取り組み、中間発表会を行いました。

参加5年目の東京家政大



学宮地ゼミからは8名、日本女子大学1年生の3名、SOEの若手社会人たち5名、他18名が集まりました。3つのお話の紙芝居を作成しています。

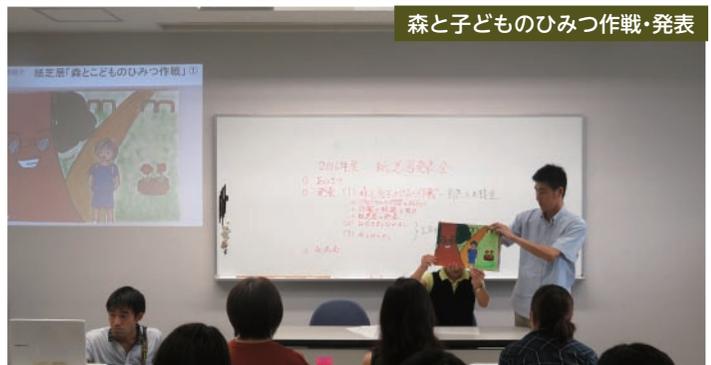


「森と子どものひみつ作戦」

担当◎日本女子大学卒業生
応援◎SOE 若手メンバー

《感想》◎自然へのいざないを狙っている。◎普段木に近づくことが少ないので、良い導入になる。◎木にも命があることを感じ取れる。◎身近な木を観察してみよう、触れてみようと思わしてくれるような内容だ。◎木をはじめとした自然

子どもが遊ぶ森の公園がある日とんでもないことに



森と子どものひみつ作戦・発表

《生物》を大切にしようというメッセージがとても良く伝わりました。☺️大人も子どもも自然と一つになって歌うシーンが狙いである、自然への接近というのにつながっているな。葉の色一つひとつ色を変えていて木の個性を表している。



「お日さまとなかよし」

お日様の子サータが、雨で運動会ができないわけをお日さまに聞きに行くと

担当◎東京家政大学宮地ゼミ生



《感想》☺️実験前に紙芝居を読むと実験をやってみようと思える。☺️理科が嫌いな子どもでも紙芝居とかなら、興味を持ってくれるのかな。☺️子どもの目がかわいい。☺️内容と絵がマッチしててわかりやすくおひさまの力がすごいというのがよくわかる内容。虹のシーンはよかった。



- ☺️みんなで何時間もかけて作ったので、愛着がわきました。学校に見せに行くのが楽しみです。
- ☺️紙芝居から実験へすんなり入ることができる。私自身も興味を持ちました。☺️色が濃く絵も大きくてよいです。



「水となかよし」～雨の子チャプの決意～

雨が降らないので、学校のプールも中止になり、雨の子チャプは、雨ふりを頼みに冒険へ

担当◎日本女子大学1年生

《感想》☺️キャラクターがとてもかわいくて、ナマズやドジョウなどの生きものもかわいらしく描かれていた。☺️水力発電について二酸化炭素が出ないなどの利点も入っていていいな。☺️読み方がとっても上手で純粋に引き込まれてしまいました。☺️とても工夫されていて場面がわかりやすくなっていた。☺️水の形が変化していくことが内容に書かれていてよかった。☺️地球の自転の力についてもあたりと授業の内容を紙芝居を通して楽しく学ぶことができると思う。



☺️2週間で作ったのがすごい。☺️いつの間にか水の知識、役割を知ることができるのが良かった。色の使い分けがすごいな。☺️風と水の力で動くエネルギーを作る実験はわかりやすい。



東シナ海に沈む初日のサンセット

《第1日目》☀️「地元の方から、アカウミガメ、アオウミガメのあかちゃんを見せていただき、そっと、海へ放しました。戻ってくるのは、25年後とのこと。私にとって初めての体



ツアーを楽しむ子どもたち

験の連続、楽しみです。」(カメの地元保護者から、カメの写真は掲載禁と言われた。アカウミガメも絶滅危惧種)

☀️「備瀬について思ったこと。何より人と人とのつながりに驚いた。初めてきた場所、一日で沢山の人と会ったけれど、みなさん、とてもやさしい方々だった。よく、地元の人と交流を持とうという話を聞くが、自分のすごした環境を考えると、うわべだけの話だったのかと思った。それから、沖縄を車で走るとき、



備瀬のフクギ並木はなぜか癒される人気スポット

いろんな景色を見たが、沖縄の歴史や環境、伝統、自分自身の無知さを実感した。教科書で学ぶことよりも、実際自分の目で見て、感じ、考えることが一番の学習であることを改めて感じた。」



カヌーやり遂げたぞ～つかれた～

《第2日目》☀️「カヌー体験は、自分自身でこがないと進まない乗り物で、かなり全力を出した。シュノーケリングで見た海底の形の違いに驚いた。あんなに近くに、魚たちがいると思っていたいなかった。」☀️「ライフジャケットを着て、慣れたら、熱帯魚を見つけられて感動しました。」〈熱帯魚だらけです。〉

《第3日目》☀️「夜明け前の海を眺めました。波立っていました。備瀬の海岸のゴミ拾いをして環境保全のために活動

しました。SOEの実践・実績を実際に知ることができました。」☀️「沖縄の海は今まで行った中で一番きれいだったが、ごみの量はそんなに変わらなかった。美ら海水族館のスケールの大

美ら海水族館のジンベイザメ



12回目の備瀬の海岸のゴミ拾いの成果

きさに圧倒された。魚の独特な模様や生態の違い、生き延びるために培った姿は興味深いものばかりだった。いつか、自然界で見たい。」

《第4日目》出張授業は前号に掲載。

板橋区立前野小寺子屋第3弾「世界で一つしかない万華鏡を作ろう」

「すごくキラキラでした。」「上手にできてうれしかった。」「見てきれいだった。」「色がきれいだった。」「きれいにできて楽しかった。」



☆みんなのを見て、きれいでよかったと思います。見る。学んで楽しかったです。☆すごくきれいな万華鏡ができました。見てみると雪が見えました。☆ペットボトルの中にキラキラしたものを入るのがむずかしかったけど、できてよかった。☆いろいろなキラキラを入れるとお花や模様ができてとてもきれいでした。自分だけの万華鏡ができました。

(4回目は10月15日(土)『割りばしてっぽう』参加者は前野小児童)

授業参観
レポート

「もったいないごみを調べよう」

中根橋小学校4年2組 中村智之教諭 学級

板橋区環境教育カリキュラム部会 9月23日金 4校時



板橋区の資源の再利用(リユース)

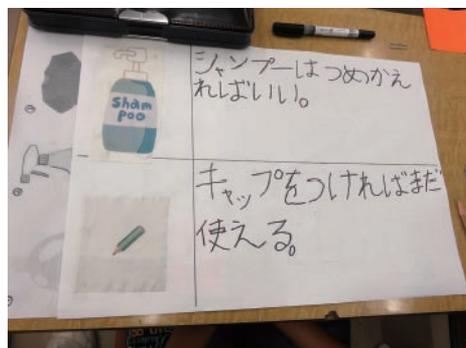
・再生(リサイクル)率

H24 17.8%

H25~H26 17.9%

(SOE(参考資料)板橋区環境白書—平成27年度版より)

板橋区環境教育“未来へ1” 10ページ「こんなものをゴミにしませんか」の活用授業です。もったいないごみを選び、その理由を考え、活発に発表しました。板橋区はゴミは少しずつ減っていますが、残念ながら、リサイクル率は2割以下の横ばいが続いています。平成18年から比較すると少し、上がりかけていますが、資源の80%は燃やしているの？ 埋め立てなの？



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp